

【部会・分科会活動報告】 2013年7,8月度

食 品 安 全 研 究 会	食品微生物研究部会	<p>1. 部会全体会議 8/26 14:00~15:30 於サントリー カトラリーハウス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ MALDI TOF/MS 分科会報告 ・ 芽胞菌分科会報告 ・ グローバル規格動向に関する勉強会進捗確認 ・ 今後の活動計画について <p>2. MALDI TOF/MS 勉強会 8/26 10:00~17:30 (14:00~15:30 は除く) 於サントリー カトラリーハウス、25名参加 講師 Bruker 社、島津・ビオメリュー社 東京海洋大学 高橋肇助教授</p> <p>3. MALDI-TOF/MS 分科会 7/22 於 Bruker 社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 菌株のデータベース化について打ち合わせ <p>4. 芽胞菌分科会 7/24 於 ILSI 会議室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <i>Alicyclobacillus</i> 属菌検査法の共有化 <p>5. 次回部会全体会議および CCFH44「7 examples」勉強会 10/11 10:00~16:00 於 (株) 明治 10/12 9:00~10:00 於 箱根富士屋ホテル</p>
	食品リスク研究部会	<p>1. 運営会議 (8/26, 13:00~15:00, 於 ILSI 事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各活動の進捗報告、今後の活動計画について議論 <p>2. 勉強会「HESS (有害性評価支援システム) について」 講師：花王株式会社 大内淳子氏 (8/26, 15:00~17:00, 於 ILSI 事務局)</p> <p>3. WG 活動 食品の安全性試験を考える会 (8/26, 10:00~12:00, 於 ILSI 事務局)</p> <p>4. 書籍「毒性学教育講座 (下巻)」原稿作成 <今後の予定：食品の安全性試験を考える会、Tox21 勉強会 (10月, 於 ILSI 事務局) ></p>
	食品アレルギー研究部会	特になし
	香料研究部会	
	食品安全調査研究部会	
バ イ オ テ ク ノ ロ ジ ー 研 究 会	植物研究部会	バイオテクノロジー研究会としての開催で下記参照。当部会としての会合と重複。
	環境リスク評価分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ERA プロジェクト調査報告第 11 号 (AUG 2013 号) 発刊。 ・ ERA 懇談会開催 7/1,8/19
	アレルギー性タンパク質の分析方法分科会	特になし
	組換え体検知法分科会	特になし
	バイオテクノロジー研究会全体	<p>勉強会開催 (8/26)</p> <p>1. “The International Workshop on Comparative Approaches to Safety Assessment of GM Plant ” (SENASA 主催、ILSI IFBiC および ILSI アルゼンチン共催) に関する勉強会</p>

栄養健康研究会	栄養研究部会	2WG 合同のライフサイエンスシンポジウム企画委員会開催 (8月6日、17時～18時、於会議室)。出席者8名。主題やコンセプトについて議論した。
	GRプロジェクト	
食品機能性研究会	茶類研究部会・茶情報分科会	7月12日、茶情報分科会を実施。 1. 第5回 ICOS2013 事務局大石氏よりプログラムの紹介。 2. ICOS2013、ILSI セッションの内容および準備状況の確認。 3. ILSI 茶成分データベース、分析コラボの可能性、試料収集に関する議論。 4. 茶の有効性、安全性に関する情報発信の進め方として分科会内特別プロジェクトの提案。
	食品機能性研究部会	・7月4日(木)に3分科会合同会議開催。今後の活動方針について議論した。 ・次回会議予定:9月26日(木)15:00～17:00に3分科会長会議
	脳機能分科会	
	免疫能分科会	
食品機能性研究会	ロコモ分科会	特になし
	寄付講座「機能性食品ゲノミクス」	・2008年12月に開始した第II期東京大学 ILSI Japan 寄付講座は、2013年11月に終了予定。 ・第III期寄付講座(2013年12月開始、5年間)参加募集中。
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	◇ テイクテン (TAKE10!®) 7/9, 16, 17, 18, 19, 25 「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場) 7/22 墨田区広報誌「すみだ」で、25年度「すみだテイクテン」初心者教室の募集開始 7/29-31 震災被災地支援:いしのまきテイクテン(講師:木村美佳、石巻市北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所、北上地区女川集会所、石巻市仮設南境第4団地集会所) 8/21-22 震災被災地支援:いしのまきテイクテン(講師:木村美佳、石巻市北上地区女川集会所、北上地区仮設にっこりサンパーク団地集会所) 8/29 墨田区高齢者福祉課主催 すみだテイクテン 栄養講演会「健康長寿のための食の手立て～シニアは“新型栄養失調”?～」(講師:人間総合科学大学 熊谷修教授、墨田区役所リバーサイドホール) 8/30 テイクテンサポーター講習会(講師:木村美佳、ILSI Japan 会議室)
	Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	8月 SWAN に関する論文が PLOS ONE より出版された(オープンアクセス August 2013 Volume 8, Issue 8, e70654)
	Project IDEA (Iron Deficiency Elimination Action)	7/1 鉄・亜鉛の強化米のマーケットトライアル(2013～2014年実施)の共同研究契約をベトナム国立栄養研究所と締結
	CHP 全体	
国際協力委員会		1. 平成25年第6回委員会開催(7/25) ・BeSeTo 会議(9/10-11 北京で開催予定)およびシンポ。日本からの発表題材について討議。(栄養表示、機能表示、残留農薬、BSE 検査の現状、アルミ規制、ゴマ、カシューナッツのアレルギー表示、農水省プロジェクト、ILSI 台湾創立について、など)

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度農林水産省「食品産業グローバル革新支援事業」(第 V 期) への応募 (5/22) の進捗状況 (調査国としてカンボジア、ブルネイ、ミャンマー、ラオス及び台湾、調査項目として機能性食品の追加を提案) 2. 平成 25 年第 7 回委員会開催 (8/27) <ul style="list-style-type: none"> ・ BeSeTo 会議およびシンポ。日本からの発表内容の確認。(栄養表示、ウーロン茶の残留農薬、アルミ規制、アレルギー表示、過酢酸製剤に対する厚労省の対応、食品添加物の動向、JAS 法の改正、農水省プロジェクトについて、など) ・ 農水省プロジェクト進捗状況。補助金交付内定。(9/2 付承認) 3. 次回会議予定：9 月 25 日 (水) 15:00-17:00
情報委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会開催 2 回 (7, 8 月) 2. ホームページ <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務としての更新 3. 「栄養学レビュー」誌 <ul style="list-style-type: none"> ・ 21 巻 4 号 (通巻 81 号) : 8/10 発刊 ・ 22 巻 1 号 (通巻 82 号) : 編集作業進行中 (2/10 発刊予定) ・ 22 巻 2 号 (通巻 83 号) : 編集委員会開催 (9/2)
編集部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「イルシー」誌 114 号発行 ・ 「イルシー」誌 115 号、原稿査読・編集

【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

【事務局からのお知らせ】

理事会	<p>平成 25 年度第 2 回理事会が平成 25 年 7 月 31 日 (水) 午前 10:00-11:30 ILSI Japan 会議室で行われました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 審議事項及び審議の経過の概要 <ul style="list-style-type: none"> ■議案 1. 理事選任について 山口事務局長より、徳留信寛理事の辞任に伴い新たに古野純典氏 (独立行政法人国立健康・栄養研究所理事長) を理事に選任したいとの提案があり、審議の結果、異議なく承認された。 ■議案 2. 科学諮問委員会 (SAC) 設置について 山口事務局長より科学諮問委員会 (SAC) 設置につき提案し、審議の結果、異議なく承認された。 概要は以下の通り <p>◎科学諮問委員会 (SAC) の役割</p> <p>SAC に期待するミッション</p> <p>新たな潮流の把握</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) これからの科学問題に焦点を当て、ILSI として取り扱うべきテーマを選択する。 2) SAC が年に一度、国際的な視点も入れ、長期テーマ案を作成し、理事会に諮問する。 <p>概略イメージ</p>
-----	---

	<p>頻度：年2回開催 メンバー構成： （アカデミア）現役に近い。次期理事候補も視野。地域性も考慮 （インダストリー）研究戦略、研究企画部門の部長クラス／理事会社の協力但し、事務局WGが企業メンバーのニーズ、科学の流れを考慮し、広範囲の候補研究テーマをピックアップし、ポイントを整理した後、SACに提案する。</p> <p>現存研究部会テーマとの重複・兼ね合いについては、事務局WGで判断する。研究部会長を中心としたメンバー構成。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) ILSI 本部活動紹介／ILSI 本部長 山口事務局長より、ILSI 本部 Jerry Hjelle 会長から ILSI 本部活動につき、戦略的目標・主要4領域・戦略計画移行チーム等について紹介あった旨、報告があった。</p> <p>2) 「最新栄養学」第10版出版について 山口事務局長より、別紙資料に基づき「最新栄養学」第10版の翻訳者が決定し、順調に出版に向けて進んでいるとの報告があった。</p> <p>3) 東京大学-ILSI Japan 寄附講座第Ⅲ期について 山口事務局長より、第Ⅲ期東京大学-ILSI Japan 寄附講座「機能性食品ゲノミクス」を開設し参加者募集するとの紹介があった。 第Ⅲ期においては、第Ⅰ、Ⅱ期からの飛躍を目指し、新しいゲノミクス・エピジェネティクスの研究を推進する。同時に、これからの高齢化社会に起因する生活習慣病にも目を向けるとともに、人々の生活の質（QOL）の向上に貢献すべく、健全（wholesome）な食品の科学・技術を樹立する研究機関として活動を継続して行く予定。具体的な研究相談については東京大学 阿部、中井両先生が個別に対応する用意がある。</p> <p>4) ILSI 台湾設立総会 西山理事長より ILSI 台湾の設立総会が7月28日にあり、招待され参加したとの報告があった。来賓として招待されたのは ILSI Japan と ILSI SEAR、総会の参加者は台湾の副総理・厚労省大臣（日本で相当する省）・副大臣等大物が多数参加していた。 会長は台湾大学終身特別名誉教授、孫 璐 西 (Lusy Sun Hwang) 氏で、参加企業は24社、会費は5,000\$と設定されている。 当日、ILSI Japan が日本での活動として、『「東アジアの食品等の規格基準、分析方法等の調査と結果の共有化」報告書』を作成している等の、活動報告を行った。</p> <p>5) その他 山口事務局長より、「『「東アジアの食品等の規格基準、分析方法等の調査と結果の共有化」報告書』(Ⅳ)が完成し、農林水産省に提出した。当機構ホームページにも掲載しているので活用して下さい」との報告があった。同時に、本年度も申請しており、台湾も含めた新規5か国についての調査を継続する予定となっている。</p>
事務局	平成25年9月1日付にて倉井 真氏が事務局次長として就任されました。

	<p>倉井氏はサントリーホールディングス株式会社で主として酒類営業部門、健康食品セサミンの事業化、研究企画部門等を担当し、豊富な経験・知識により ILSI Japan の発展に貢献されることが期待されています。</p>
--	---